



精神科医
瀬戸 睿

人というものは、自分を取り巻く人たちが、自分をどう見ているのかにとっても敏感なものです。

学校で虐めにあい、みんな自分をシカトし返事もしてくれない。自分をチラチラ見ながら、同級生と笑いながら話している。こちらは「あっ、おれの悪口を言っているんだなあ」と感じる。自分に関係のないことで笑っていても、そう思ってしまう。そのうち、誰が話

をしていても、自分の悪口のように思える。

家に帰って、一人部屋にいとあれこれ想像する。同級生が「あいつバカだよな、ダサいよな、死んじゃま〜」とか言っていると思い、学校での嫌なことはかり頭に浮かんでくる。気分転換にテレビを観ると「バカだな、ダサいな」とか言い合っている。それを自分のことを言っているように思える。

そのうち眠れなくなる。寝ようとするが悪口が聴こえてきて、はつきり声になってくる。辛い、学校には行きたくなくなり「お腹が痛い」と親に言って学校を休む。不登

校になり、親は「学校へ行け!」と怒鳴る。それで親に反抗し、家庭内暴力が始まる。

部屋に閉じこもる。独り言を言い始める。「笑うんじゃねえ!こっちが笑ってやる!」とつぶやき「アハハハハ!」と一人で笑う。それを見ていた親は驚き「これは病気だ!!」と言って精神科に連れて行く。

これが統合失調症の発症といわれる一例である。

心の悩みを募集します

お寄せ頂いたお悩みを紙面で紹介し(匿名とします)、アドバイスいたします。

〒343-0845 越谷市南越谷1-4-53-103号、東武朝日編集部

「心の悩み係」
または、FAX 048-985-2927
まで。

